

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	皆光園	種別：	施設入所支援
代表者氏名：	川田 民夫	定員（利用人数）：	50 名
所在地：	〒 366-0811 埼玉県深谷市人見 1 9 9 8 Tel 048-573-2021		

③評価実施期間

令和 6 年 4 月 1 日（契約日）～令和 7 年 3 月 5 日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

○多職種連携の体制を整え、職員間の良好な関係性のもとチームで取り組む丁寧な利用者支援は、事業所の特徴となっている

日々の利用者支援において、職員は権利擁護の観点を常に意識し、本人がどのような暮らしを望んでいるか等、意向を汲み取る試みを行っており、実現させるために必要な支援を検討している。年代に応じた個別性の高い健康管理は看護師と嘱託医、医療機関との連携を密に取って対応している。栄養士は、日々の楽しみになるような美味しい食事の提供で利用者の健康を支えている。活動場面での支援、リハビリプログラム等では理学療法士等と職員が連携し、具体的な支援場面でのアドバイスを受けながら、現状を確認し支援の見直しを図っている。利用者支援をチームで取り組むことの重要性についての職員の理解も進み、利用者を主体とした個別のニーズに応じた支援に力を入れて取り組んでいる。

○利用者一人ひとりについて「安全安心な支援のための説明書（支援マニュアル）」を作成し、障害の特性に応じた個別性の高い支援を提供している

認知機能や身体機能の低下も見受けられ、精神的、身体的な課題に対する関わり方を整理し、日々の支援の充実を目指したいと考え、生活支援計画書作成時に生活支援実施書と共に「安全安心な支援のための説明書（支援マニュアル）」を作成・更新している。これは個人別の配慮事項を所定の19の項目に沿って、本人を良く知るケース担当職員が詳細に記載したもので、利用者の小さな変化を見逃さない体制づくりと、意思の表出が難しい利用者の心身の状況変化に速やかに対応できる体制づくりにつながっている。今後も年齢を重ねるとともに介助の量も増え転倒リスクも高まることが予想されており、職員間でのICTを活用した支援状況の共有の速さと合わせて、利用者支援の充実に活かされている。

○利用者第一の考えに基づき、職員間の良好な関係性が活かされ、安心で落ち着いた施設生活が展開されている

施設の運営は園長・副園長が連携し、リーダー層の協力のもと、利用者第一の考えに基づき、意見や要望等を的確に把握して実践につなげている。また職員間でのコミュニケーションも良好であり、職員調査でも話しやすい、相談等もしやすいという意見も多く、上下関係縦横の関係がうまくつながっていることが窺える。利用者も職員間の雰囲気の良いを感じており、大きな不満もなく安心して落ち着いた施設生活を送っている。職員にとっても働きやすい良い就業環境となっており、様々な意見が施設運営に的確に反映されている。

◇特にコメントを要する点

○安心で安全な施設生活の継続に向け、実践的な訓練をもとに経験と情報等を踏まえ、さらなる取り組みも進められたい

利用者・職員の命を守り、安心で安全な施設生活の継続に向けて、様々な危機対策や事業継続計画（BCP）等を策定して職員全員で支援活動の実践にあたっている。また避難訓練や総合防災訓練を行い、実践に近い状況での防災対応を試行している。炊き出しの実施や小型発電機の使用、受水槽からの給水も予定される等、災害時における状況を想定した訓練を実施し、その結果から得られた知見・情報等を活かして安心安全の積み重ねに活かしている。BCPの策定、職員の防災に関する意識化は進んでいるが、実践的な訓練という視点からは訓練からの経験が少ないとも考えられる。様々な条件を想定した実践的な訓練の試行を通じて、得られる経験と情報等を踏まえ、BCPの振り返り・見直しを進められ、利用者・職員を守りさらなる安心と安全につなげる取り組みも検討されたい。

○地域との関係性を大切に、交流の場を設け、利用者の施設環境も整備する将来構想としてつなげられたい

地域との関係性を大切に、地域貢献につながる取り組みを目指しており、新しい施設内には地域開放ルームが2箇所設けられている。今後はこのスペースを地域居住者の方々に活用してもらい、施設と地域、利用者及び職員と居住者が交流しながら互いにあゆむ施設として障害者支援を進めていきたいとの構想が掲げられている。また現在整備中の正面入り口の場所には利用者から要望が挙がっている緑のあるスペースで散歩ができる空間としての整備構想も語られている。これらの将来展望を施設の将来イメージとして取りまとめ、利用者・職員、地域に向けて発信し共にさらに良い方向へと発展させていく将来の姿を描くことで、関係する人たち全員の目指す将来構想につなげられたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審し、当事業所の提供している福祉サービスについて、専門的かつ客観的な立場から評価をいただくことにより、日頃自分たちの行っているサービスを再確認することができました。

評価の高い点については、取り組みに自信を持って継続しつつ、今後さらに向上が図れるよう推進していきたいと思えます。また、今後に向けてご意見をいただいた点については、取り組むべき方向が明確化されたため、目指すべき姿が実現できるよう職員一丸となり検討を重ね、取り組んでいきたいと考えております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり